## **Seat-Sonic**® /XTO2 取扱説明書

-スHVXT02をお買い上げいただき、ありがとうございます。 この度はデジタルインプットインターフェースHVXT02をお買い上取付ける前にこの取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

### ■本機の主な特徴

純正モニターにHDMIでスマートフォン、Amazon Fire TV Stickなどの映像を入力できます。 ・純正スイッチを使って3種類の表示モードが切り替えられます。(Full、Broad、Normal)

・物にスイフアを吹くこる権用の必然で一下が引か自なられます。(Full, Blodd, N 音画は車両スピーカーから出力されます。 ・HDMIの入力にiPhoneなどを接続すればYouTubeなどを映すことができます。 映像に対して音声の遅延がありません。 ・独正ナビなどの機能はそのまま使用できます。 ・独自の制御方法により、純正機器との切替えがシームレスに行えます。

### ■注意事項

・ティスプレイオーティオ(8インチティスプレイ)装備車には適合しません。 ・HDMIケーブルは付属しません。

HDMIグーンルより属しません。 本機のUSB線子は給電用です。通信やUSBメモリなどの再生はできません。 電源投入時やHDMIケーブル挿抜時などボップ音(ボツ音)がする場合がありますが、故障ではありません。 ステアリングスイッチで接続機器の操作はできません。

#### ■仕様

寸法:W100×H23×D109(mm) 質量:170g(本体のみ) USB端子:5V/2.4A(急速充電対応) HDMI端子:タイプA

### ■同梱品

HVX本体、車両接続用ハーネス、GVIFケーブル(2種類)、ポジタップ、両面テープ、ウレタンシート HDMI延長ケーブル(オス-メス 2m)、USB延長ケーブル(オス-メス 2m)、取扱説明書(保証書)

### ■お取付け上の注意事項

※運転操作や車体の可動部分を妨げないように取付けること。 ※パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけないこと。 ※水のかかる所、湿気、ほこりの多いところに取付けないこと。

※このアダプターの不当な取扱による不具合または不当な取付けによって生じた損害につきましては、当社はその責任を負いかねますのでご表着の際はあらかじめご了解ください。

### ⚠ 取付作業を行う前のご注意

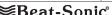
※車体の板金部近くを通るコードには、保護テープを巻いてください。※取付後、ブレーキランプ、ヘッドライト、ウィンカー、ワイパーが正常に動作することを確認してください。

※作業を行う前に必ず、純正デッキの動作確認を行ってから取付作業を開始してください。 (純正デッキが正常に動作しない場合は、本機を取付けても正常に動作しません。)

製品についての お問合わせ窓口



▶ WEBお問合わせフォーム [24時間受付] http://contact.beatsonic.co.jp/



**鬱Beat-Sonic**® 〒470-0112 愛知県日進市藤枝町ごうしん472-5

TEL 0561-75-1655 / 0561-74-5592 URL http://www.beatsonic.co.ip/

### (1)各部の名称

### ■HVX本体





### ①HDMI入力

HDMI出力のある機器を接続します。ここに接続した機器の映像を見ることができます。

### ②インジケータ

本機の状態を示します。通常動作時は緑に点灯します。

### ③給電用USB端子

接続機器に電源を供給します。機器自動判定で2.4Aまでの急速充電に対応します 通信は行えませんのでUSBメモリなどを接続しても音楽や動画の再生はできません。

### ④ハーネス接続カプラー

同梱の車両接続用ハーネスを接続します。

### ⑤GVIF入力カプラー

同梱のケーブルを使用して車両側カプラーに接続します。ラベルと同じ色のカプラーを接続します。

### ⑥GVIF出力カプラー

同梱のケーブルを使用してモニター側カプラーに接続します。ラベルと同じ色のカプラーを接続します。

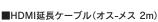
### ■車両接続用ハーネス

車両側カプラー、純正モニター、純正デッキとHVX本体を接続します。



### ■GVIFケーブル(2本)

車両側カプラー、純正モニター、HVX本体を接続します。





### ■USB延長ケーブル(オス-メス 2m)

<u>( 2</u>)車両パーツの取外し

# 

純正デッキ/モニターの取外し方法は 左記QRコードから確認してください。

URL:http://www.beatsonic.co.jp/qr/?page=hvxt02\_t

### <u>③ HVXの取付け</u>

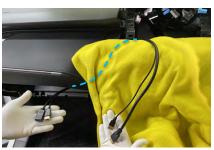
### 1.诵線

純正パネルの取外し方法は、「②車両パーツの取外し」をご覧ください。 HDMIケーブルとUSBケーブルは任意の場所に配線を通線します 外部入力機器の設置位置に合わせて、通線する位置を決めてください。

### < HDMI、USB延長ケーブルの通線位置推奨>

製品付属の「HDMI延長ケーブル」と「USB延長ケーブル」をグローブボックスに通線します。





### 2.車速信号線の接続

車両接続用ハーネスの車速信号線(青線)を、ケーブルAの青線に製品付属のボジタップを使用して接続します。



### 3.ケーブルAの接続

ラジオレシーバASSYの28ピンカプラーを抜き、付属の車両接続用ハーネス(ケーブルA)を間に割り込ませるう に取付けます。(別紙「■配線図 |参照)



-ブルAを接続するラジオレシーバASS'

# -ブルAを接続するカプラー

ラジオレシーバASSY裏側



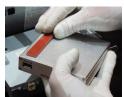
3つ並んだカプラーの運転席側を抜く

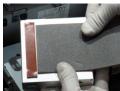
接続するカプラーに注意してください!

ケーブルAのカプラーは、3つ並んだカプラーのどれでも接続ができてしまいます。 間違えて接続するとナビの動作不良、故障の原因となります。接続するカプラーには十分ご注意ください。

### 4.HVX本体の養生

付属の両面テープをHVX本体裏側に貼り付けます。(写真左参照、USB端子を目印にします。) 付属のウレタンシートを両面テープを目安にして貼り付けます。(写真中央参照) 本体ケースの周りを1周巻きます。(写真右参照、ウレタンシートの余りはカットします。)







### 5.HVX本体の設置

HVX本体の設置位置は任意です。 純正機器の可動部や配線に強いテンションがかかる設置位置を 避け適宜養生をして設置してください。

### <HVX本体設置位置の推奨>

ラジオレシーバASSYを組付けた状態で、下に滑り込ませるよう にHVX本体を設置します。



### 6.GVIFケーブルの接続

・付属のGVIFケーブル2本を、車両側GVIFケーブルの 間に割り込ませるように接続します。

(別紙「■配線図」、右図、下左図参照) モニター裏の青カプラーとHVX本体(Output) 車両側カプラーとHVX本体(Input)を接続します。

※GVIFカプラーはケーブルに貼られているラベルの

#SOUFDJプラーはマーブルに届出るにいるプライルの 指示に従って取付けを行ってください。 ※黒色GVIFカプラーはHVXの取付けに使用しません。 純正のカプラーを接続してください。



・付属のHDMI延長ケーブルとUSB延長ケーブルをHVX本体に接続します。(下右図参照) ·HVXの取付けに関連のない純正のカプラーを、全て元に戻します。





### 7.純正パネルを戻す

純正モニターを取付けし、取外しと逆の手順で純正パネルを取付けます。

### (4) HDMI入力の切替え、画質調整方法





### ■HDMI入力映像に切替える方法



①デッキ部分の<mark>「AUDIO」ボタン</mark>を押し、オーディオソー ス選択画面で「AUX」を選択します。 HVXT02で入力した映像が表示され、車両スピーカーか

ら入力音声が鳴ることをお確かめください。 ※HVXT02のHDMI入力に機器が接続されていないとき

は青画面が表示されます。

②MAPやPHONFなどの画面からHVXTO2で入力した映像に戻るときはデッキ部分の「HOME」ボタンを押します。 ※この操作はオーディオソースが「AUX」を選択されているときのみ有効です。

情報画面(交通情報やETC料金案内等)が表示されてから外部入力映像に復帰するとき、 黒画面が数秒間表示されることがあります。 ※外部入力映像の視聴中に発生することがあります。

### ■表示モードについて

HDMI入力の表示モードを変更することができます。選択できる表示モードは以下の3種類です。

Normal	画面中心に縦横比16:9で表示	
Broad	NormalとFullの中間の縦横比20:9で表示	
Full	画面全体に縦横比24:9で表示	

### 【切替方法】

「TUNE TRACK」ボタンを押して切替えます。



·スの「AUX」が選択され、入力映像が表示されているときのみ有効です。 ※この操作は、オ HVXT02のHDMI入力に外部機器が接続されていないときは、表示モードを変更することができません。 ※この操作で変更する表示モードは、純正の画面モードの設定とは異なります。 ※他のオーディオソースの表示モードを変更することはできません。

### ■ステアリングスイッチについて

ステアリングスイッチで切替操作ができます。

### 【表示モード切替え】

ステアリングスイッチの「TUNE・TRACK」スイッチの 📢 ボタンを押すと、表示モードの変更ができます。 デッキ部分の「TUNE TRACK」 **ン**ボタンと動作は同じです。

### [HOME画面 ↔ AUX画面 切替え]

| ボタンを押すと、HOME画面とAUX画面(HDMI入力画面) | | | が交互に切替わります。

デッキ部分の[HOME]ボタンと動作は同じです。



### ■画質調整方法

メニュー画面の「画質・消」ボタンをタッチします。 画質調整モードで画面内の「共通」を選択すると、HVXTO2で入力した映像の画質を調整することができます。 ※「カメラ」ではHVXT02で入力した映像の画質を調整することはできません。

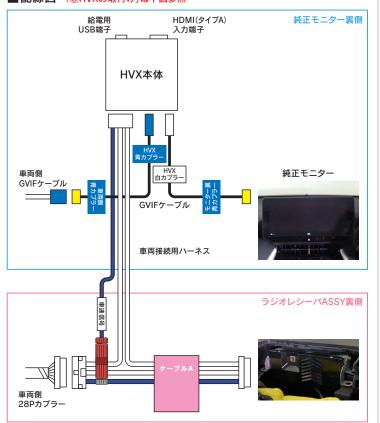


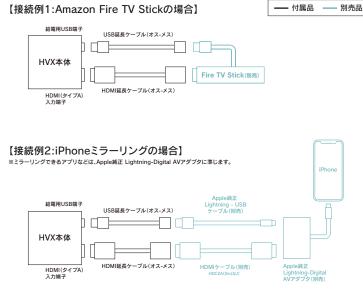




# 

### ■配線図 「③HVXの取付け」は下図参照





### ■入力映像(HDMI)について

入力するHDMI機器または映像ソースにより、画面の四隅が切れたり画面端に黒枠が表示されたり、また映像が 縦長に表示されることがあります。これは解像度や表示エリア、アスペクト比等が原因で起こる現象であり、各機 器の故障ではありません。

以下の説明をご覧いただき、接続するソース側の機器や映像ソースをお確かめください。

### 【対応できるHDMIの解像度】

フォーマット名	解像度	アスペクト比	リフレッシュレート
1080p	1920×1080	16:9	60Hz / 59.94Hz / 50Hz
1080i	1920×1080	16:9	60Hz / 59.94Hz / 50Hz
720p	1280×720	16:9	60Hz / 59.94Hz / 50Hz
576p	720×576	16:9	50Hz
480p	720×480	16:9	60Hz / 59.94Hz

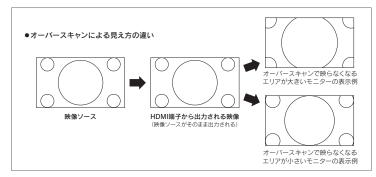
### 【表示エリアについて】

本製品のオーバースキャンは95%で設計されております。 オーバースキャンとは、画面端の歪みやノイズを隠す為に、画面の四隅をカットする表示方法です。

オーバースキャンとは、画面端の金みやノイスを隠す為に、画面の四隅をカットする表示方法です。 通常、映像ソースはオーバースキャンによって映像の四隅がカットされることを想定し、字幕などの重要な情報

通常、映像ソースはガーバースキャンによって映像の四隅がカットされることを想定し、字幕などの重要な情報 はカットされない範囲に収めるように作成されます。

これに限らない映像ソースを視聴している場合は、オーバースキャンによりカットされてしまう範囲に配置された情報がカットされて表示されます。



ソース側の機器のオーバースキャンが95%より大きい場合や、アンダースキャン信号を入力した場合は、画面の 端の映像が切れて表示されます。

また、95%より小さい場合は、画面の端に黒枠などが表示される場合があります。

また、95%より小さい場合は、幽風の蛹に悪伴などが表示される場合があります。 ソース側の機器にオーバースキャンの設定が有る場合は、オーバースキャンを95%に設定してください。

# ●スマートフォンが付加する黒枠の大きさによる見え方の違い HDMI端子から出力される映像 (四際に付加する黒枠が大きいスマホの例) ボソース (スマホの液晶画面に出力されている映像) HDMI端子から出力される映像 (四席に付加する黒枠が小さいスマホの例) モニターに表示される映像 (四席に付加する黒枠が小さいスマホの例)

スマートフォン等の映像ソースには予め四隅に黒枠が付け加えられて出力されることがあります。 付け加えられる黒枠の大きさはスマートフォンの機種によってそれぞれ異なるため、モニターに表示されたとき、 「黒枠が見える」もしくは「少しカットされた映像」になります。

### 【画面の縦横比について】

純正モニターのアスペクト比が15:9のため、16:9の映像ソースを入力した場合は若干縦長に表示されます。 アスペクト比とは縦と横の比率のことで、ここでは画面の縦と横のサイズの比率のことをアスペクト比と呼びます。 本製品は、16:9の映像ソースを純正モニターの15:9に合わせて表示させるよう設計されているため、若干縦長の表示になります。

